



写真1. 地名「高へぐり」付近の海岸

## ミステリアス・ジオコースの紹介2

第58号で紹介した「モジヨマの話」の岩場から海岸に沿って北へ歩いて行くと、写真1のような風景が見られます。ほぼ同じ高さのとんがった奇岩が横一列に並んでいるのです。

写真2は岩館の物見岩（地域の方々はモロミ岩と呼ぶそうです）の様子を撮ったものですが、写真1でみられる奇岩パレードの各々の奇岩は写真2のような作りになっています。



写真2. 岩館の物見岩

## 岩石の名前は安山岩質凝灰角礫岩

あんざんがんしつぎょうかいかくれきがん

ずいぶんと長ったらしい名前ですが、この名前からこの岩石の特徴をたくさん知ることが出来ます。まず「安山岩」ですが、これはマグマが地表または地表付近で固まってできた岩石で一般に色は灰

色っぽい特徴を持っています。私たちの住む八峰町には広く分布している岩石で、糠森や椿海岸で見られる石の柱を作っている岩石もこれにあたります。

次に「角礫」ですが、この「礫」は石を意味し、特に角ばっているものを角礫と言っています。サブタイトルにあげた長い名前を見ると「角礫」はどんな石なのかはつきりしません。この場合、角礫が安山岩からできていますと言っているのです。

最後に凝灰というのは何なのでしょう。これは火山灰が固（凝）まってできた岩石という意味です。つまり凝灰角礫岩とは火山が噴出した時に出てくる灰（写真3）が、安山岩の溶岩の破片と混ざりながら固まってできた岩石という事です。



写真3. 季刊・理科の探検通巻18号表紙

## 風化に強い溶岩と弱い凝灰岩

凝灰岩は火山灰からできているので溶岩と比べると、とても壊れやすい（風化）性質があります。この二種類の岩石が混ざり合った岩が波に削られるとどうなるでしょう。凝灰岩でできている部分は波で削られます。すると残った固い溶岩は残りますが支えを失い落下します。ですから写真1、2の様子がたくさんできることになります。

## はげしい海底火山が起こった

これまでの研究結果から考えられることは岩館海岸に見られるこれらの岩を作った火山は海底で起こったものであるということです。海は煮えたぎり、魚たちは死ぬ。そんなすさまじい変動がこの地に起こったものでしょう。

《奇岩名募集》 写真1のそれぞれの奇岩の名前を募集します。左記へご連絡ください。

八峰白神ジオパーク推進協議会

研究専門員 工藤 英美

〒0182632

秋田県山本郡八峰町八森字三十釜一四四一

ぶなつこランド内

TEL 0185-77-3086